

(第3種郵便物認可)

「スマホより睡眠、勉強時間」



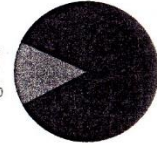
インターネットでその時々話題についての意見を聞く「中日ボイス」。第七回は携帯電話をテーマにした。愛知県刈谷市の全小中学校が今月から、午後九時以降に児童生徒に携帯電話を使わせないよう保護者に要請することを呼び、「子どもを対象にした携帯電話の自宅での使用規制」への賛否と「携帯電話、スマートフォン」の使い方」を質問。一万一千五百三十三人が回答した。

使用規制に賛成は85・4%。すべての年代で賛成が反対を上回り、二十代が79・8%、八十年代が89・3%と年齢が上がるにつれて賛成が増えた。実際に規制を受ける十代も68・0%が賛成。自宅での過ごし方は自由などの考えもあるが、「睡眠時間と勉強時間を確保できる」

10代も規制を歓迎です

携帯電話 スマートフォン 児童生徒を対象にした自宅での使用規制についてどう思う?

賛成 85.4%
反対 14.6%



携帯電話 スマートフォン 主な使い方は? (複数回答)



(愛知県、十七歳男性)と歓迎する声が多かった。若者にすっかり浸透したのが無料通信アプリ「LINE (ライン)」。「いじめや児童買春の道具にも使われるとあって、刈谷市の規制は「こうしたトラブルから子どもを守る狙いがある。友人からのメッセージに素早く返答しないと「冷たい」と言われることもある」とい、「規制を理由に友人によるラインの欄から抜け出せる」(岐阜県、十七歳学生女性)との声も。友人との付き合い方に悩む若者の姿が浮かび上がった。

親や祖父母の世代からは「親が言ったところでフン」という感じ。違ったところから言われると少し違う対応が出てくるのでは」(愛知県、四十八歳主婦)と期待する声があった。

読者向けネットサービス「中日プラス」会員の回答を中心としており、性別や年齢層などを考慮した通常の世論調査とは異なります。紹介できなかった意見の一部は近く中日プラスのページで紹介する予定です。

全公立高校も二月に「午後十時から午前六時までメール交換しない」などの利用指針をつくらった。

中日新聞

三河で広がる利用ルール

愛知県刈谷市の小中学校の校長会が一日開かれ、携帯電話の利用ルールの周知に取り組むことを正式に申し合わせた。

ルールは、午後九時以降は保護者が携帯電話を預かる▽不要に持たせない▽フイルタリングサービスを利用するの三点。各校のP

TA総会などで保護者にルールへの協力を求める。利用を制限するルールは愛知県三河地方で広がっている。新城市の小中学校でもPTAらが、夜間から早朝のメール交換やラインへの書き込みの禁止などのルールを作成し、四月から各家庭に周知する。東三河の

保護者の皆様へ

本年度も「学校通信」校長室の窓から」を通じて、子どもたちの学校生活の様子や、学校の教育活動・方針をお伝えしていきたいと思っております。この学校通信が、学校と家庭・地域をつなぐ一端を担うよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、本通信へ生徒指名等の掲載時には、先日ご提出いただいた個人情報非公開に関する文書とともに、本人に直接確認をしますので、よろしくご承知おきください。

豊橋市立前芝中学校長 谷中 緑